



魔女推理 嘘つき魔女が6度死ぬ

《新潮社》 三田 誠／著



高校生の^{あざみ}薊拓海は、4年ぶりに故郷の地に帰ってきた。これからの生活では、「久城の魔女」と呼ばれる幼馴染の^{ありふえ}檻杖くのりとは関わらないと決意していたが、ある事件をきっかけに再会する。なぜ、くのりは「魔女」と呼ばれるのか。そして、「嘘つき」は誰なのか。高校生二人による、魔法とミステリーの物語です。

ただ単に「魔女」と聞くと、ごりごりのファンタジーなのかな？と思いがちですが、内容は結構重いサスペンスミステリー要素が含まれています。この物語で特に印象的に描かれているのは、拓海とくのりが再会する場面。山桜の濃い花びらと、くのりの、ぞっとするほど儂い様子の描写が、物語全体の不穏な空気を予感させます。「久城の魔女」であるくのりが使う「魔法」とは？そして登場人物たちが吐く嘘とは？拓海の語りと、くのりの語り、どちらの視点からもこの物語は描かれており、より物語に引き込まれます。シリーズ第2弾も発売された「魔女推理」。山桜の季節に読みたくなる一冊です。

【F913.6/コウ】



世界のかわいいパン

《パイインターナショナル》

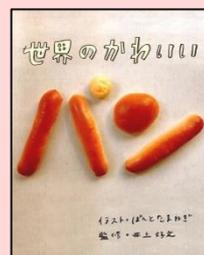
ぱんとたまねぎ／イラスト，井上 好文／監修，岩崎 美里／写真

世界中で食べられ愛されているパン。日本にもパン好きの人はたくさんいますよね。ティーンズの皆さんの中にもご飯よりパンが好き！なんて人もいるはず。今回は、そんな人たちにはたまらない一冊を。

世界各国の代表的なパンを実物の写真とかわいいイラストと共に紹介。オススメの食べ方や、そのパンが生まれた背景などを解説していきます。他にも製法の種類や歴史、用語など意外と知らない豆知識が満載です。

面白いのが、国ごとでパンにも個性が出ていること。2号はデンマークとトルコのパンが美味しそうで特に気に入りました。読めば無性にパンが食べたくなること間違いなしです。

パンの雑学が詰まったこちらの本ですが、実は1番ビックリした情報は、紹介されている外国のパンのほとんどが日本でも買えることでした。美味しいものは何でも取り入れる日本人の食欲、恐るべし。



【H596.6/セ】



恋とシェイクとバレンタイン

《講談社》 神戸 遙真／著

ティーンズのみんなは、どんなアルバイトをしてみたいですか？高校生の子は、すでにアルバイトをしている子もいるかもしれませんね！

「会社を辞めて、ずっと夢だったカフェレストランを始めるんだ」と父親が言い出したことで、高校一年生の詩織は、お小遣いを上乘せしてもらうことができなくなりました。そこで、Eバーガーでのアルバイトが始まります。

詩織が初めてのバイトで感じていることや、失敗してへこんでいる様子が学生時代の自分に重なりまくりました！今アルバイトをしている子は、とても共感できると思います。今はアルバイトできないけど、高校生、大学生になったら始める子も参考になると思います。いま振り返ってみるとアルバイトをがんばっていた、あの時が青春真っ只中だったんだなぁと思います！「恋ポテ」シリーズぜひ手に取ってみてください！

【F913.6/コウ】



『かわいい!パケ買いデザイン』

《パイインターナショナル》

PIE International／編著，竹下 けいこ／選

皆さんはパッケージのデザインに惹かれて商品を購入することはありますか？私はコスメや雑貨をパケ買いすることがあります。好みのパッケージのものだと持っているだけで気分が上がりますよね。

この本では著者が厳選したパッケージ150点以上をスイーツ・お菓子、お茶・飲料、食品・調味料、コスメ・雑貨の4種類に分けて紹介しています。工夫を凝らしたデザインを見ているだけで楽しい一冊です。

パッケージなどのデザインに興味のあるかたには、同じ棚にある『パッケージデザインの教科書』【1Fレ7 675.1/ハ】もおすすめです。この本は商品売るために、パッケージをどのように作りデザインしているかその方法が基礎から実践、応用まで具体的な事例をもとに分かりやすくまとめられています。

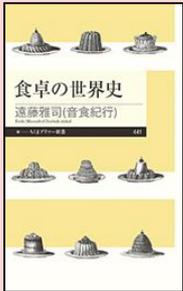
【1Fレ7 675.1/カ】





食卓の世界史

《筑摩書房》 遠藤 雅司／著



歴史上有名なあの人物は、一体何が好物だったのか、どんな食生活を送っていたのか、気になったことはありませんか？
例えばアレクサンドロス3世は質素な食事をとるけれど大酒飲みで、楊貴妃はライチを好んで食べていたようです。中には、美食が高じて、その植物の地球上最後の1本を食べたという王様も…。

【I383.8/シ】 「食卓の世界史」というタイトルの通り、世界各地の、古くは紀元前に食べられていた食べ物も紹介されています。現在では失われてしまった材料で作られている料理もありますが、手に入りにくい材料は筆者が代わりにする材料の提案もしてくれているので、味の再現が可能な料理もあります（ただ、私が見ている限り、見たことも聞いたこともない食材の名前がちらほらあったので、料理の再現は料理好きな人にお任せします）。歴史上の人物がどんな味の料理を食べていたのか、筆者が様々な文献や現存しているレシピから解説してくれているので、想像の力でぜひ楽しんでみてください。

ノクツドウライオウ

《あすなろ書房》 佐藤 まどか／著

100年続く老舗のオーダーメイドシューズ店「靴ノ往来堂」。その5代目店主候補だった兄が家を出て行ってしまい、シューズデザイナーを夢見ている夏樹は、自分の夢を優先すべきか靴職人として店を継ぐべきか悩める日々を過ごしていた。そんな中、憎まれ口ばかり言うので嫌っているクラスメイトの佐野宗太が、弟子入りしたいとやってきた。どうする夏樹！

お店は続いて欲しいし、靴作りも好きだけど、自分が本当にやりたいこととは少し違う…。そんな微妙な気持ちに悩む夏樹ですが、マエストロ（＝師匠）である祖父の作る靴を履いた人たちが笑顔になっていくのを見つめて、次第に自分の目指す道を決めていきます。将来や進路のことで悩むことも多い中高生の皆さんには、共感できる部分が、そしてヒントになる部分がたくさんある作品だと思いました。

魅力的な登場人物ばかりですが、2号は特に宗太がお気に入りです。できることなら、いいライバルになった2人が、靴職人として成長していく続編が読んでみたい！



【913/サ】



人前であがらずに話せる100の法則 《日本能率協会マネジメントセンター》

新田 様子／著

みなさんは、人前に立って話すとき緊張しますか？あがり症とまではいなくても、わたしは緊張するタイプなので、人前でも平気っていう人がうらやましい！

学生も、社会人になってからも人前に出て話す機会はあると思います。緊張する原因を理解すると対処しやすくなります。苦手なことがあったら、まずは敵を知ることから！ですね！

あがらずに話すコツを意識して準備をすると発表やスピーチを控えているときの気持ちがだいぶ楽になるのではないのでしょうか！あがらないためのポイントが見開きで書かれているので、全ページ読まなくても、気になった箇所を読むのもいいと思います。人前でビクついていた自分を卒業し、本の知識で武装して挑みましょう！



【1Fレファ 809.2/ヒ】



ブランコのむこうで 《新潮社》星 新一／著

みなさんは寝ているとき夢を見ますか？
実は覚えていないだけで、人は1日に平均で3～5つの夢を見るそうです。

この本は、そんな夢の世界を舞台にした物語です。ある日の学校の帰り道、自分にそっくりな男の子を見かけ追いかけているうちに夢の世界に紛れ込んでしまった少年。様々な人々の夢の世界を渡り歩き冒険する長編ファンタジーです。優しい気持ちになるお話なので、寝る前に読むのも良いと思います。

夢を見る仕組みについて興味のあるかたには、『人はなぜ夢を見るのか』【1Fレフ 145.2/ヒ】、『眠っているとき、脳では凄いことが起きている』【1Fレフ 491.3/ネ】などの、なぜ夢を見るのかについて書かれている本もおすすめです。

この本を読んで不思議な夢の世界に飛び込んでみませんか？



【B913.6/ホシ】



青の刀匠

《ポプラ社》 天沢 夏月／著



みなさんには、どうしても克服できそうにないもの、トラウマになってしまっていることはありませんか？

主人公のコテツは、火事にあっから、炎に恐怖を感じるようになっていました。火事により同居する父親は植物状態になり、遠縁の親戚が成年後見

【913.6/アマ】人となったコテツは、東京から遠く離れた島根で暮らすこととなります。コテツの未成年後見人となったのは、現在日本唯一の女性刀鍛冶・かがりでした。

辛い現実から目をそらし逃げたいと思うコテツに、かがりは、いつか前に進みたいと思ったときにすぐに歩き出せるよう、座り込むのではなく、自分の足で立ち続けろと声をかけます。わかりやすくは応援してくれないけれど、優しくそっとコテツの背中を押してくれるかがり。やりきれない苦しさを抱えながらも、前へ進むために踏ん張るコテツの姿に、胸が熱くなりました。読み進める中で、表紙のイラストの意味も分かってくる。自分を熱くさせる“何か”に出会いたいティーンズに、ぜひ読んでもらいたい一冊です。

解きたくなる数学

《岩波書店》

佐藤 雅彦／著、大島 遼／著、廣瀬 隼也／著

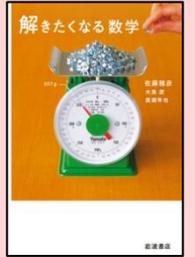
国語が得意な人は理科や数学が苦手で、逆もまた然り、という印象を持っている人も多いと思います。

私はどちらかと言えば数学が好きだったのに高校の文理選択で文系に行った変わり者だったのですが、そんな私が読んで「やっぱり数学っておもしろ〜！」となったのがこの本です。

著者のかたはNHKの教育番組「ピタゴラスイッチ」などに携わったかたで、身近にあるものを使って数学の問題を出し、それを次のページで解説しています。

解説と言っても長くて難しい式がズラ〜っと書かれているわけではなく、考え方に沿って簡単に説明されていて、数学が苦手な人でもわかりやすくなっていると思います！なんなら公式を知っている必要もないので、年齢すら関係なく読めます！！

これを読んで少しでも数学に興味を持ってもらえたらうれしいです。



【410/ト】



ウィズ・ユー

《くもん出版》 濱野 京子／作

この本は、2021年中学校の部の課題図書で、「ヤングケアラー」がテーマの本です。

ヤングケアラーとは、家族の世話や、食事の支度、掃除、洗濯などの家事を日常的に行っている18歳未満の子どものことです。

高校受験を控えている悠人は、気晴らしのランニング中、朱音と出会います。彼女は、病気でケアが必要な母と、まだ幼い妹のために家事を担っているのだと知ります。

社会問題を扱う物語ですが、中学生が自分の居場所を考えたり、受験を控えて不安定になる気持ち

や、気になる人ができたときの気持ちや、繊細に描かれています。悠人と朱音の気持ちがゆっくりと近づいていく様子がとても素敵です。特に、悠人が朱音のためにできることを考える姿にぐっときました。社会問題をテーマにした課題図書…と気負わずに読んでみてほしい！



死ぬまでに観たい映画 1001本

《カルチュア・エンタテインメント株式会社
ネコ・パブリッシングカンパニー》

スティーヴン・ジェイ・シュナイダー／総編集、野間 けい子／訳
皆さんが最近観た映画は何ですか？私はこの前『ジョーズ』を観ました。近年は動画配信サービスなどにより、昔の作品や様々な国の映画をより手軽に観られるようになりました。選択肢が増えたことで何を観ようか迷うこともあるのでは？

そこで今回紹介する本は『死ぬまでに観たい映画 1001本』です。この本は、1902年から2021年の映画の中から、時代、国、ジャンル、ムーブメント、伝統、監督、俳優など、多岐にわたる観点で厳選した1001本を紹介している名作映画のガイドブックです。

ジャンル検索、監督索引があり、幅広い視点から映画を探すことができます。また、フルカラーで映像写真も豊富なため、視覚的に作品を選べるのも楽しいです。10ヶ国88人の映画評論家による、簡潔な文章で豊富な筋書きや歴史的背景、ちょっとしたエピソードなどを紹介しているので、自分の好きな作品についてより詳しく知りたいかたや映画の歴史に興味があるかたにもおすすめです。この本を読んでお気に入りの作品を見つけてみませんか？



農はいのちをつなぐ
 <<岩波書店>> 宇根 豊/著



図書缶読者のみなさんは、田植えやお米づくりの経験はありますか？1号は生まれ育った環境から、小さい頃からお米づくりや田んぼが身近にありました。

この本では、実際にお米づくりを生業としているかたが著者となり、お米の一生や生きもの同士のつながりを、“百姓”としての実感を伴って解説してくれています。

1号が共感できたのは、それぞれの季節になると生き物たちが「かえ」ってくるということ。夏の夕暮れにはやっぱりヒグラシの声が聞こえるし、夜になれば虫やカエルの鳴き声が聞こえてきます。我が家にはツバメも、毎年訪れます。色々な生き物のつながりが途切れなかったからこそ、毎年毎年同じ生き物たちに出会えているのだなと思えました。

田んぼをただの風景ではなく、様々な生き物たちの多種多様なドラマが生まれる劇場のように感じられること間違いなし。1食1食のごはんへの向き合い方も考えさせられます。

美女と野獣

<<新潮文庫>> ポーモン婦人/著 村松 潔/訳

皆さんはディズニー映画の名作、『美女と野獣』を見たことはありませんか？美しい村の娘ベルが、醜い野獣と真実の愛を見つけるお話で、ディズニー映画で初めてCGが使われた作品だそうです。

そんな『美女と野獣』、もちろん原作があり、それこそが今回紹介する本です！

私は映画内で、本に泥まみれの靴を乗せるガストンを「絶対許さねえ！」と思っており、原作にも同じ描写があったらどうしようかと思っていたのですが、そもそもガストンという人物が出てこなかったのが杞憂に終わりました。

というかガストンが出てこないどころか色んな設定が映画と違って、やっぱりディズニー映画って原作からすっごい変わるなぁと再確認しました。

『美女と野獣』だけではない様々なお話を集めた短編集となっているので、興味が湧いたかたはぜひ借りてみてください！

…さっきの体験談といい、今回やらんとディズニーの話するなぁ私？！（新2号）



【B953.6/ル7】



やだな一本
 <<KADOKAWA>> 明円 卓/著

タイトルからネガティブな内容に感じたかもしれませんが、しかし！なんにもしたくない時、気持ちが晴れないとき、クスッと笑えるこの本を手にとってみてください！！おもしろいだけでなく共感できて、「自分だけじゃないんだ…！」という思いがけぬ安心感を覚えます。

また、「やだなー」発のアイデアを考えることもできます。考え方を少し変えることで、ネガティブな感情で終わらない！発想の転換する癖をつけることも大切だと気づかせてくれますよ！



【141.5/ヤ】

わたしが共感した「やだなー」は、「電子決済音がめちゃくちゃ大きい音で響いたとき」です。みんなも「やだなー」で笑ってみてね！



明るい夜に出かけて
 <<新潮社>> 佐藤 多佳子/著

皆さんはラジオを聴きますか？ラジオにも音楽やバラエティ、ニュース、スポーツ、朗読、ラジオドラマなど様々なジャンルの番組がありますよね。私は、好きなアーティストの番組を聴きます。今回紹介するのはラジオ番組が題材になっている物語です。

あることがきっかけで心を閉ざし、大学を休学して海の側の街でコンビニのバイトをしながら一人暮らしを始めた富山。唯一の楽しみはラジオの深夜放送を聞くこと。人間関係の葛藤を抱えている富山が、ラジオを通じた人との繋がりから少しずつ周囲に心を開き、過去の出来事や自分の将来と向きあい変化していく姿を描いたお話です。

実在のお笑い芸人やラジオ番組が登場するので、ラジオを聴く機会があまり多くない私でも、イメージがしやすく物語に没入できました。趣味のラジオから世界が色づいていくように、自分の好きなことを大切にしようと思える一冊です。

【ポピ F913.6/サト】





博士の愛した数式 《新潮社》 小川 洋子／著



このコーナーでは、近年出版された本を紹介することが多かったのですが、今回は20年以上前に発行された本を紹介しようと思います。

高校で数学が苦手になってしまった落花1号は、この本のタイトルは知っていましたが「数式」という言葉にびび

【F913.6/オカ】って、今まで読めずにいました。ただ、読み終わった今となれば、読んでよかったなという気持ちでいっぱいです。確かに、数学の話が沢山出てきますが、数学者の「博士」が、家政婦の「私」に分かりやすく、そしてその面白さを語ってくれるため、数学好きに…とまではいきませんでした。数学が面白いものだとして優しく教えられたように感じました。今なら数学と和解の握手を交わせそうです。

17年前の事故がきっかけで80分しか記憶もたない博士と、家政婦として通い始めた私、そして私の息子の「ルート」との間の、数学と野球を介した親愛の育みを描く、静かでもとても温かな気持ちになれる物語です。

10代のうちに考えておきたい ジェンダーの話

《岩波書店》 堀内かおる／著

「ジェンダー」って言葉は、ちょうど落花2号が大学生になったくらいの頃に世の中に出てきた覚えがあります。初めて聞いたとき、「自分の中に昔からあった女性に対する憧れとか願望って、この中に含まれるのかな〜」と思いました。今はもう諦めというか折り合いをつけて、昔ほどその願望は強くありませんが、たまーに爆発したりも…って、2号の自分語りはさておき、今の中高生って保健体育とかでジェンダーについて勉強したりするのでしょうか？



自分だけでなく、他人のジェンダーについて考えるときにも使えるのがこの本です。デリケートな話題で、人によって正解が異なるからこそ、正しい知識を身に着けて、人を傷つけることがないようにしたいですね。

興味を持ったかたは、ティーンズコーナーにあるほかのジェンダーの本も読んでみてください！

【I367.1/シ】



なんがこくものがたり 南河国物語(暴走少女、国をすくう?の巻) 《静山社》 濱野 京子／作, Minoru／絵

舞台は遙か昔、黄砂舞う大陸に栄える南河国。紅玉という賢い娘と、その父親の賢良という男がいました。偶然にもこの賢良が、南河国最強の將軍に顔がそっくりだったのです。二人は將軍になりました罪で捕えられてしまいます…。国境を脅かす蒙呂族との攻防、將軍の秘密、南河国の太子と蒙呂族の姫の恋の行方やいかに！

中国宮廷ものにハマっていたので、もっと読みたい!と思っていたところ、こちらの本に出会いました!テンポの良い展開と、愛すべき登場人物たち。紅玉が困難をひらりとかわすさまが痛快です!また、「紅玉」や「紫蘭」、「白蓮」など登場人物の名前の響きが美しく素敵です!



【913/ハ】

後宮小説ブームの今、おすすめですよ!!



名古屋の喫茶店 《リベラル社》 大竹 敏之／著

皆さんは喫茶店に行くことがありますか?今回は名古屋喫茶のガイド本を紹介いたします。この本は名古屋の喫茶3大チェーンやレトロ喫茶などコーヒー、空間、サービス、メニューと多彩な魅力を持つお店を紹介していて、お店の特徴や歴史、こだわりを知ることができます。また、小倉トーストやコーヒーゼンザイといった名古屋喫茶定番グルメの歴史から、モーニングなどの喫茶店文化についても知ることができます。

お店のこだわりや歴史を知ってから行くと、より喫茶店を楽しめそうですよね。紹介されているお店はどれも魅力的なので、どの店に行ってみようか迷ってしまいます。店内やメニューの写真も豊富なので見るだけで楽しい一冊です。コーヒーやモーニング、ケーキにクリームソーダ、素敵な空間…皆さんもぜひ堪能してください。

【ポピ H596.7/ナ】



